

ジャン・プルーヴェ展<sup>てん</sup>

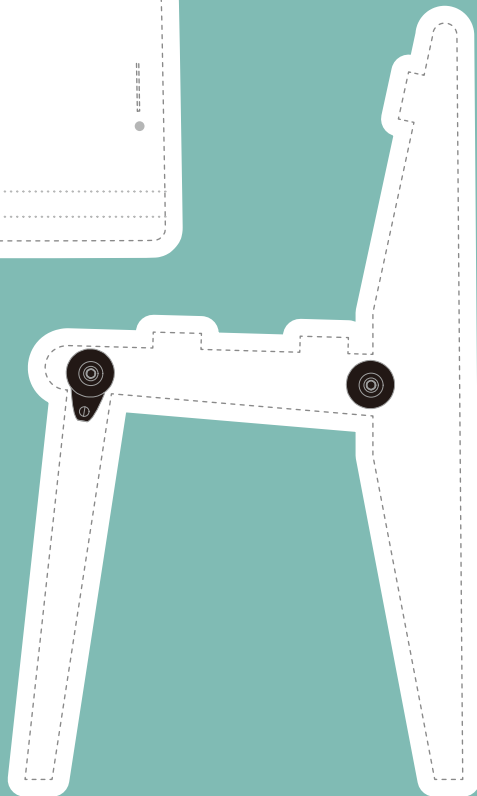
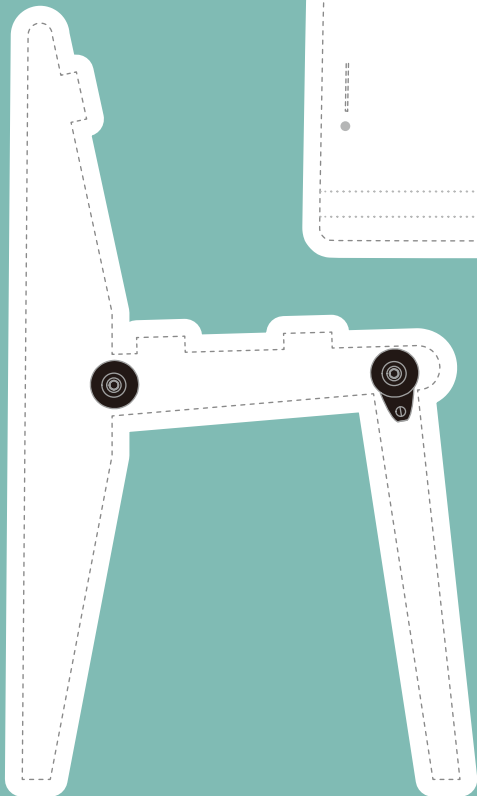
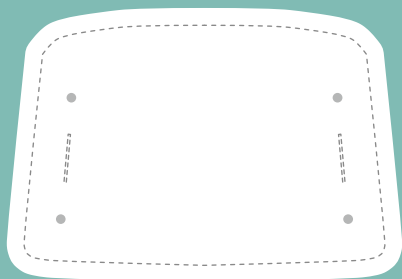
いす けんちく  
椅子から建築まで

**Jean Prouvé**  
**Constructive Imagination**

2022年7月16日(土)～  
10月16日(日)

とうきょうとげんだいびじゅつかん  
東京都現代美術館

きかくてんじしつ  
企画展示室 1F・B2F

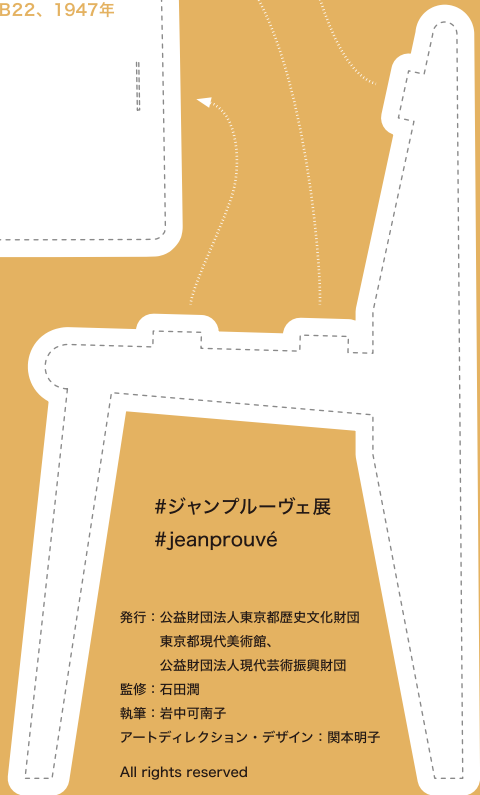
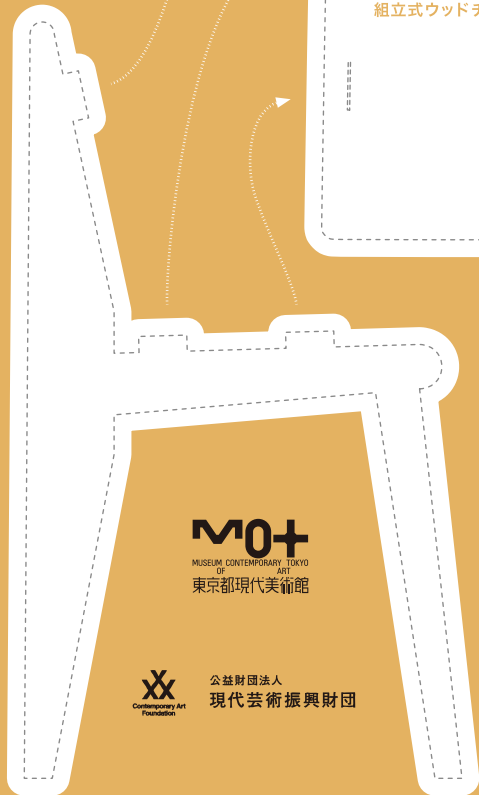
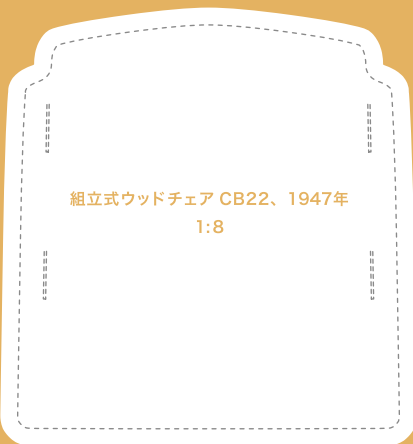
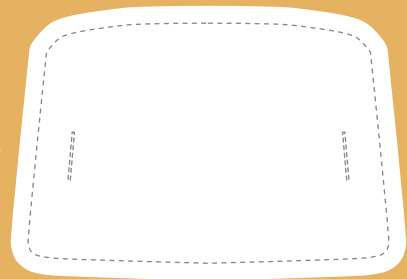


切り取り線

山折り線

キッズガイド

自分だけのオリジナルチェアを作ろう！



M0+  
MUSEUM CONTEMPORARY TOKYO  
ART  
東京都現代美術館

公益財団法人  
現代芸術振興財団

#ジャンプルーヴェ展  
#jeanprouvé

発行：公益財団法人東京都歴史文化財団  
東京都現代美術館、  
公益財団法人現代芸術振興財団  
監修：石田潤  
執筆：岩中可南子  
アートディレクション・デザイン：関本明子

All rights reserved

## 1 ジャン・プルーヴェって どんな人？

1901年フランス、パリ生まれ。  
お父さんは画家、お母さんは音楽家。  
1904年に家族でナンシーという町に移住。  
20代は金属を加工する職人として活動し、  
30歳の時にナンシーに工場をひらく。  
1944年にはナンシー市長にもなり、  
1984年82歳で亡くなりました。



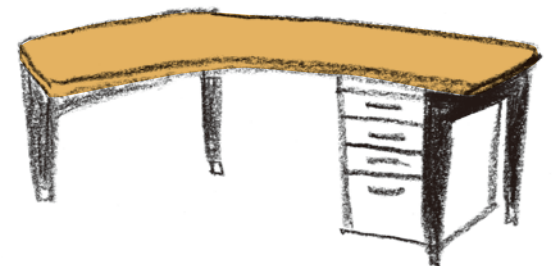
J. Prouvé

構築家  
コンストラクター

ジャン・プルーヴェは自分のことを「構築家」や「デザイナー」  
ではなく「構築家（コンストラクター）」と呼びました。家具や建物を  
デザインするのに、どうしたら実現できるか考えるところから、  
自らの手でつくるまで、全ての工程に関わりました。

## 2 家具や建物を“工業化”するってどういうこと？

プルーヴェは職人としてのものづくり  
にこだわりながら、新しい素材を  
使ったり、短い時間でたくさん  
つくれるような仕組みを考えました。  
シンプルで美しいのも  
プルーヴェ作品の特徴です。



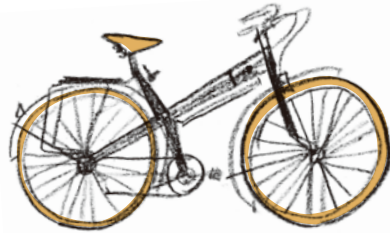
形かたちやつくりつくりに注目ちゅうもくしてみよう！

Q

テーブルや椅子いすの脚あし、自転車じてんしゃ、脚立きゃたつなど、  
似たような形かたちをしている部分ぶぶんがあるね。  
どんな素材そざいで、どのようにつくられているのだろう？

A

車くるまにも使つかわれるような、軽かるくて扱あつかいやすい  
金属きんぞくの薄うすい板いたが使つかわれているよ。  
ペラペラの金属きんぞくを折おりたたむことで、  
強つよい脚あしをつくっているんだ！



### 3 椅子いすは何なにで できているかな？

1934年ねんにはじめてつくられたブルーヴェだいいょうさくの代表作  
「スタンダードチェア」は、時代じだいに合あわせて  
形かたちや素材そざいが変かわっていきます。



てつ ぎ  
鉄+木



ぎ  
木



くみたてしき ぎ  
組立式(木)



くみたてしき てつ ぎ  
組立式(鉄+木)



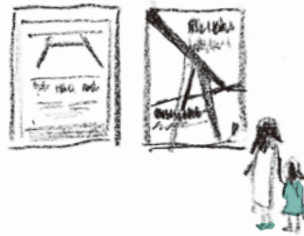
てつ  
鉄+アルミ

どんな時代じだいに、  
どんな素材そざいが  
使つかわれていたんだろう？

戦争せんそう中は鉄てつが不足ふそくしていたので、木きが使つかわれています。つくり方かたを簡単かんたん  
にしながら、座り心地すわのよさが考ごえられた椅子いすは、学校がっこう、家いえ、会社かいしゃなど、  
使つかう人ひと、場所ばしょ、気候きこうに合あわせてたくさんしゅるいの種類しゅるいがつくられました。

## 4 家具や建物の印刷物

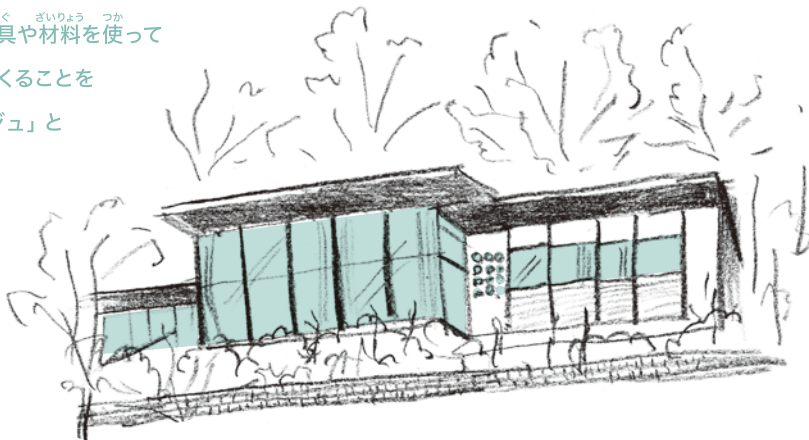
雑誌や広告からは、もののかたちや機能などを伝えたいという、ブルーヴェのこだわりが感じられます。



## 5 プルーヴェの家は何でできている？

1954年、ブルーヴェはナンシーに自分の家をつきました。材料はなんと、工場にあった捨てられるはずの部品！それらを寄せ集めて、快適な家をつくりあげています。

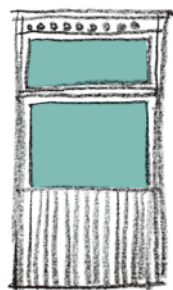
寄せ集めの道具や材料を使って自分の手でつくることを「ブリコラージュ」というんだよ。



## 6 プルーヴェにとって理想の環境とは？

戦争が終わり、1947年にはナンシー郊外のマクセヴィルに工場を移します。新しい大きな機械を取り入れて、図面やスケッチで考えたことが次の日には形になっているという、理想の仕事場が整いました。

工場にいるみんなで話し合いながら力を合わせてものをつくり、製品を売ったお金もみんなで分けました。

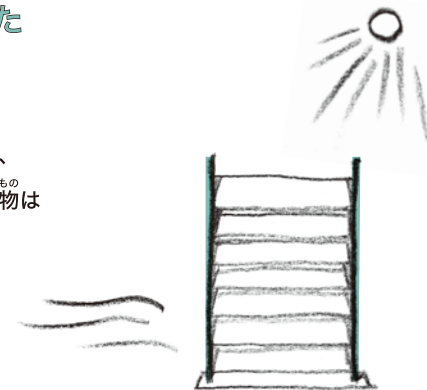


ひとつの部品にいくつもの機能をつける工夫は、ブルーヴェ作品によく見られるよ。

このパネルは、換気をしたり、熱を中に入れないように作られているんだ。

## 7 アフリカに向けてつくられた家具や建物の特徴は？

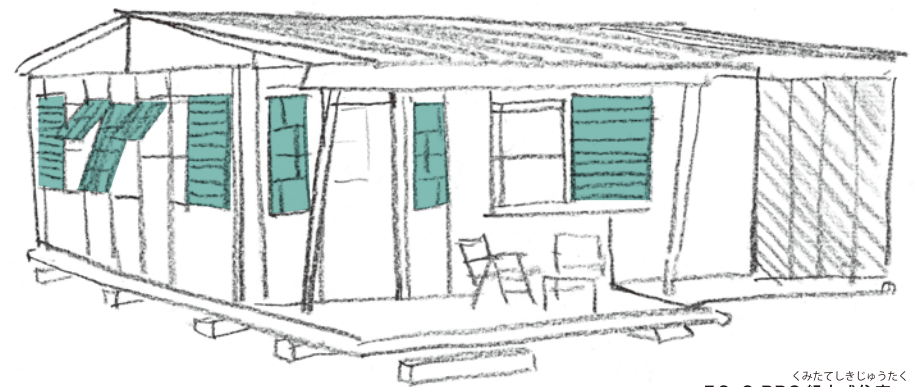
アフリカに建てられた家は、換気や日よけの機能で、いつも涼しく感じられます。ブルーヴェの家具や建物はバラバラにできるので、フランスからアフリカに、飛行機で簡単に運ぶことができました。



## 8 組み立て・解体された建物を見てみよう！

組み立て・解体が簡単にできることで、戦争の後で家が足りなくなった時にも、安く快適な家を早くたくさんつくることができました。環境に優しいという点でも、今、高く評価されています。

展覧会では、3つの組み立て・解体ができる建物が展示されています。1944年につくられた《6x6組立式住宅》は、大人6人が6時間で組み立てできる家です。



くみたてしきゅうたく  
F 8x8 BBC 組立式住宅  
1942年



どんなパーツで家ができているかな？

家具にも使われていた、金属の薄い板が建物にも使われているね。